

(コンセプト1-施策1)

番号	事業番号	外部評価委員質問事項	所管部署	所管部署からの回答
1	No.1	今後、性的マイノリティの方々に対し、社会から受け入れられるような態度や行動についての意識の醸成など啓発が必要ではないか。	総務課 秘書広報課	<p>「性的マイノリティ」とは、「身体の性」と「自認する性」が異なる人や、「好きになる性」が同性である人など、多数派とは違う性のあり方を持つ人々のすべてを含む言葉です。</p> <p>性のあり方は多様です。性的マイノリティの方々には差別や偏見によって困難を抱える状況が少なくありません。</p> <p>多様な価値観を尊重し、誰もが暮らしやすい環境づくりにつなげるため、多様な性に関する意識啓発に取り組んでいきます。</p>
2	No.1	実施計画に記載された内容は具体的にどのような周知・活動をされたのでしょうか？広報等の記載がなくなりづらく思いました。	総務課 秘書広報課	<p>多様な性に関する市民・事業者への周知・啓発として、市民向け講演会の開催（1回）、広報に関連記事掲載（2回）、「多様な性を理解するためのハンドブック」の作成、市職員への研修（3回、対象者：新任職員、全職員、管理職等）を実施しました。</p> <p>また、毎月1日号の広報はむらで当該月の相談日を掲載しています。</p>
3	No.1	事業の目的は対象者の悩みの解決にあると思われるが、実施回数のみでなく当事者の問題解決に寄与し得たと考えられるか。（同一人物の反復多数回の相談等があると問題は解決していないことになる）	総務課 秘書広報課	<p>事業の実施目的、相談者の相談目的ともに「悩みの解決」であり、カウンセリングを必要とする回数は人それぞれ異なるものであると認識しています。</p> <p>そのため、同一人物の複数回の利用も目的を達成する為に必要な手段であると捉えています。</p> <p>なお、次回のカウンセリングの予約については、カウンセラーと相談の上、相談者の状況を踏まえて決定しています。</p>
4	No.1	多様な性に関する意識の啓発・相談の実施については、講演会を行ったり相談を行って、市民・事業者への意識の醸成を進めることが出来たとしていますが、さらに踏み込んでアンケートを採ったりして、意識の醸成が図られたかを確認する必要はなかったでしょうか？イベントを行っただけで計画通りと判断するのは、手段が目的になったような気がしました。	総務課 秘書広報課	<p>講演会では参加者にアンケートを実施し、事業効果を検証しています。</p> <p>内容については、「大変良かった」「良かった」との回答が全体の84.2%であったほか、意見・感想には「初めて知ることも多くあった」「知識が少し深まった」「認識が少し変わった」等、意識の醸成が図られたと考えられる回答がありました。</p> <p>また、女性・SOGI悩みごと相談を受けた方を対象に実施したアンケートでは、「相談してよかった」、「解決の糸口がみえた」、「相談して気分が楽になった」との回答が95.6%を占めました。</p>

(コンセプト1-施策1)

番号	事業番号	外部評価委員質問事項	所管部署	所管部署からの回答
5	No.1	福生市と協定があるようですが、近隣の他の自治体とは同様な協定はないのでしょうか？近隣と締結していればさらに強力に施策をすすめることができる（できた）と思いました。また、難しいかもしれませんが、羽村市民が福生市で同じサービスを利用している状況もある程度把握されているのでしょうか？	総務課 秘書広報課	令和4年度において、近隣市で同様の相談窓口を設置しているのは福生市のみであることから、他自治体との協定は結んでいません。 相談利用件数については、羽村市71件（うち福生市民18件）、福生市64件（うち羽村市民25件）となっています。
6	No.1	総合評価で、「～啓発事業により、市民・事業者等への意識醸成が進められた」とありますが、具体的にはどのように進められたのでしょうか？特に事業者への取組に興味があります。羽村市の考えと社内での取組に乖離があれば社内への提言も行ってみたいです。	総務課 秘書広報課	具体的な取組として、市民向け講演会の開催（1回）、広報に関連記事掲載（2回）、「多様な性を理解するためのハンドブック」の作成、市職員への研修（3回、対象者：新任職員、全職員、管理職等）を実施しました。 令和4年度において、対象を事業者に特化した事業は行っていませんが、国や東京都等の各種情報を担当部署を通じて随時提供しています。
7	No.1	「女と男、ともに織りなすフォーラム」講演会の参加人数は何人で、それは予想参加人数と比べて多かったのでしょうか？	総務課 秘書広報課	講演会（R5.1月実施）には47名の参加がありました。 コロナ禍において、また、3年ぶりの開催であったことから、参加人数を予想することは困難でしたが、周知に努め、一定程度の集客ができたものと考えています。
8	No.2	NO.2以外の事業含め全体で伺いたいのですが事業費の投入実績の最終予算に対する決算額が少ないのは ・効率的に行い費用を抑えることが出来た結果 ・事業費の対予算一部未使用の費用が発生した結果 どちらの結果と捉えればよいですか？	財政課（総務課）	予算につきましては、必要経費を見積もった金額で、議会の承認を受け決定し、事業はこの予算額の範囲内で実施していくこととなります。 予算に残額が生じる原因としましては、事務事業の実施段階においても工夫を凝らし経費の削減に努めた結果や、契約時・支払い時における価格の変動、事業の中止など、事業によって様々な原因があることから、一概に言えるものではありません。 また、市では、予算額に対して50万円以上の不用額が生じる場合は、予算額と決算額に乖離が生じないよう減額補正を行っていますが、決算見込額の見積もりが困難な経費や、緊急的な対応により大きな支出が生じる可能性がある経費など、多様であることから、予算額と決算額が異なるケースがほとんどです。

(コンセプト 1 - 施策 1)

番号	事業番号	外部評価委員質問事項	所管部署	所管部署からの回答
9	No.2	予算執行70%であるのに、計画通り達成とする判断基準はなにか。	総務課	<p>予算未執行分の主な内容は以下のとおりであり、計画事業は目標を達成したと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画推進会議委員報酬（会議欠席者分の残）</li> <li>・啓発・人材育成事業等講師謝礼（当初予算との差額）</li> <li>・イベント等保育士謝礼（保育希望者がなかったため）</li> <li>・旅費（会議等が近隣市やオンライン開催となったため）</li> </ul>
10	No.2	事業費の執行率が73.6%にとどまった理由はどのようなものでしょうか？	総務課	<p>予算未執行分の主な内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画推進会議委員報酬（会議欠席者分の残）</li> <li>・啓発・人材育成事業等講師謝礼（当初予算との差額分）</li> <li>・イベント等保育士謝礼（保育希望者がなかったため）</li> <li>・旅費（会議等が近隣市やオンライン開催となったため）</li> </ul>
11	No.2	総合評価で、「～有効性の高い事業を効果的に実施できた」とありますが、具体的にはどのように実施できたのでしょうか？この施策を契機に、男女共同参画が具体的に進んだ事例があるのでしょうか？あればもっと、アピールできると思いました。（この委員会に女性の委員がいませんね）	総務課	<p>男女共同参画基本計画に基づき、また、男女共同参画推進会議においていただいた意見を参考として、パートナーシップ制度や生理の貧困にかかる取組等を推進しました。</p>
12	No.2	生理用品の配布事業について厚生労働省のアンケートによると生理用品の入手に苦労している人の約半数が知らなかったと回答しています。事業の周知について情報が届くべき方に届いたかについて評価は行われていますか？	総務課	<p>令和4年度は試行実施として、配布場所、時間、曜日などに改善を加えながら、実施方法を検証しました。</p> <p>また、令和5年度1回目実施時（6月）にアンケートを実施し、情報入手方法等を確認したところであり、それらを踏まえて、より効果的な事業となるよう改善を進めます。</p>

(コンセプト1-施策1)

番号	事業番号	外部評価委員質問事項	所管部署	所管部署からの回答
13	No.3	<p>事業費は事業を行うのにかかる費用のように捉えていましたが、冊子を作成している実績に対し、事業費は0とあるのは冊子はどの様に費用化されているのでしょうか？</p> <p>また著名人講師の講演は協賛している福生市が費用を出しているという事になるのでしょうか？</p>	地域振興課	<p>本事業は、羽村市と福生市で設置した「ふっさ・はむら多文化共生事業協議会」において、東京都市長会からの助成金を活用し、事業を実施しました。</p> <p>講演料を含めた事業費は福生市の一般会計予算に計上されており、助成金についても、福生市が申請していることから、羽村市における事業費は0となっております。</p>
14	No.3	<p>予算が計上されていないが、委託費等諸費用の捻出先は何処か。</p> <p>事業がマネジメントのみのものであれば、ノウハウ・知見の蓄積面から全面委託も考えられるのではないか。</p>	地域振興課	<p>予算が計上されていない理由は番号13のとおりです。</p> <p>本事業は、東京都市長会からの助成金の限度額の範囲で実施しており、限りある財源を有効活用するため、両市の意見を反映しながら進めていく必要があったことから、全面的な業務委託はしておりません。</p>
15	No.3	<p>R4.9.17開催の多文化講演会は、残念ながら申込者972名の約半数の496名しか参加されていません。当日辞退された主な理由を想定されているのでしょうか？このようなイベントを開催する場合の参考になると思います。事業対象の妥当性とまでは言いませんが、市民ニーズにあったのか心配です。</p>	地域振興課	<p>本事業は、定員800名を大きく超える申込みがあり、キャンセル待ちの方も発生するなど、多文化共生の理解促進に関しての市民ニーズに則した事業であったと捉えています。</p> <p>当日のキャンセル理由については把握していませんが、令和4年9月は新型コロナウイルス感染症第7波の渦中だったこともあり、体調がすぐれない方や不特定多数が集まる場への参加に不安を感じた方が、不参加の判断をしたものと捉えています。</p>

(コンセプト1-施策1)

番号	事業番号	外部評価委員質問事項	所管部署	所管部署からの回答
16	No.3	<p>羽村にも自動車工場を主として大勢の南米の方、中近東、東南アジアなどの出身者が多く住んでいると思います。</p> <p>既にボランティア団体などが活躍しているのかもしれませんが、南米の殆どはスペイン語であるのに対し、ブラジルはポルトガル語であるため、外国人の安心ガイドブックにポルトガル語も入れていただいたら如何かと考えます。</p> <p>また、両親はほとんど日本語が話せないのですが、日本で生まれて両方の言葉を使い分けている方もいますので、このような方に仲立ちしてもらって日本人との交流の機会を増やすことなどは如何でしょうか？</p>	地域振興課	<p>「外国人のための安心ガイドブック」の作成対象言語については、羽村市・福生市在住の外国籍の方の国籍上位7位の言語で作成しています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響によりここ数年は実施しておりませんが、外国籍の方と日本人の交流となるような講座等を予定していきます。</p>
17	No.3	<p>外国人向けに安全安心に暮らすためのガイドブックなどを作成しているのは良いことだと思います。7種類の言語でガイドブックを一律に同数作成していますが、住んでいる国籍の居住傾向に合わせて作成しないと多すぎたり、足らなかったりはしていませんか？（たとえば、スペイン語と英語で同数で良いのか？等）効率性の検討として、将来的にHPも各言語で見れると良いですね。</p>	地域振興課	<p>「外国人のための安心ガイドブック」の作成対象言語については、羽村市・福生市在住の外国籍の方の国籍上位7位の言語で作成しています。</p> <p>印刷部数については、一律に同数印刷した方が安価に作成できたことから、限りある財源を有効活用し、効率的に事業を実施する観点から、言語にかかわらず同数を印刷しており、不足が生じる言語については、庁内で追加印刷することに対応することとしています。</p> <p>また、羽村市公式サイトは現在、英語をはじめとした五か国語に対応しています。</p>

※所管部署欄の（ ）内には、当該事業の所管部署を記載しています（質問の回答を行った部署と事業の所管部署が異なる場合に記載）。